

特集

救急・集中治療部

救急部・集中治療部

各科だより	23P
成人単徑ヘルニアの治療	45P
潰瘍性大腸炎について	外科
ピンクリボン運動	消化器科
緩和ケア認定看護師	6P
緩和ケア研修会を開催しました	7P
院長伝言板	8P
地域医療連携室だより	

市立砺波総合病院憲章

わたくしたちは 市立砺波総合病院の職員であることを誇りとし 愛と奉仕の精神のもとに 病気で悩める人々を癒すことに互いの心を結集し この憲章を定めます

市立砺波総合病院は

- 1 患者さんの権利を尊重します
- 1 信頼できる医療を提供します
- 1 医療の安全を追求します
- 1 優しい医療を行います
- 1 職員が働く喜びと誇りの持てる職場をめざします

理念

地域に開かれ
地域住民に親しまれ
信頼される病院



市立砺波総合病院
Tonami General Hospital

〒939-1395 富山県砺波市新富町1番61号
TEL 0763-32-3320(代表) FAX 0763-33-1487(総務課)
E-mail tgh-somu@city.tonami.lg.jp
ホームページ <http://www.city.tonami.toyama.jp/tgh>

特集

救急・集中治療部

救急部

★救急室とは



事故などによるケガや体調が急に悪くなった患者さんを受け入れるために24時間体制で開いております。

救急室では重篤な患者さんが搬送されたり複数の患者さんが一度に大勢受診されたりと、



様々な対応を行っています。

救急医療を円滑に行うため、何日も前から症状が出ている場合は、平日の外来受診をお勧めします。

★院内救急トリアージ

当院救急室では、受診される救急患者さんに対し「トリアージ」を実施しています。「トリアージ」とは優先度を決定し選別を行う、という意味があります。最初に受付をしていたら、診察前に専門的知識を持つ看護師が、症状などから患者様の緊急度・重症度を判断します。このトリアージにより、緊急度・重症度の高い患者さんから優先的に診察を受けていただきます。診察の順番をお待ちいただく事がありますのでご了承ください。

受付

- ・保険証・診察券・お薬手帳・助成用紙の提出をお願いします。

トリアージ

- ・救急室看護師が、現在の症状や今までにかかった病気、飲んでいる薬、アレルギーなどを聞きます。
- ・バイタルサイン（血圧、脈拍、体温など）を測定します。

トリアージ判定

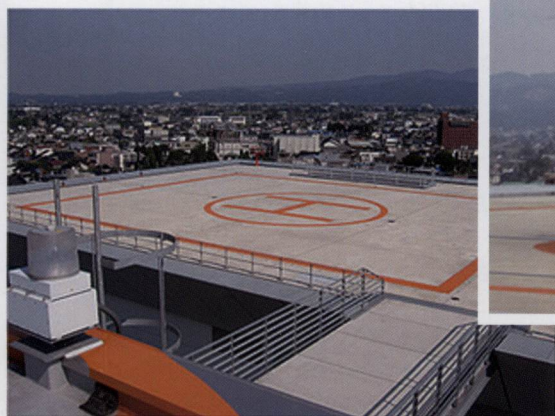
- ・総合的に緊急度を判定し、診療の順番を決定します。その後、医師の診察が始まります。

平成24年度

救急室年間受診者数 12,437人
年間救急車台数 2,188台
救急室からの入院患者数 2,624人

★ヘリポートとは

当院屋上にはヘリポートが設置されており、救急室と直結しています。山岳事故や病院までの搬送時間が長時間の救急搬送患者さんを受け入れています。



集中治療部

★ICU・HCUとは

当院集中治療部には、ICU（集中治療室）4床とHCU（ハイケアユニット）12床のベッドがあります。

さまざまな医療機器があり、高度で専門的な医療が提供されています。



ICU（集中治療室）

ICUには、呼吸や循環の機械的補助を必要とするような重症患者さんが入室されます。夜間帯は、ICU当直医師が常駐しており、専門的なサポートを行っています。

HCU（ハイケアユニット）

HCUには大きな手術を受けられた方や重症度の高い方、夜間緊急入院される方などが入室されます。

病状が安定されましたら一般病棟へ移動していただくこととなります。

ICU・HCUの看護師は常時患者さんのそばで看護させていただいております。

チーム医療

近年、医療の高度化に伴い治療の多様化・複雑化が進んできました。質の高い安全な医療へのニーズに応えるには、多職種で情報や意見を共有し、チームとして機能していく必要があります。当院集中治療室においても、専門医師、看護師、理学療法士、臨床工学技師などが連携し、一人ひとりの患者さんに最善と考える医療を提供しています。

成人単径ヘルニアの治療

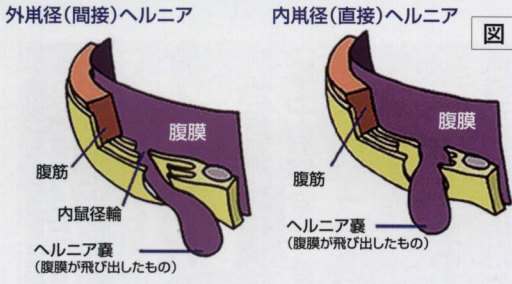
はじめに

単径ヘルニアは外科で診療しています。一般に脱腸と呼ばれるこの疾患はこどもの病気と思われがちですが、むしろ成人に多い病気です。日本では年間約10万人の患者さんがヘルニア手術をうけていて、非常にポピュラーな病気といえます。当院では年間およそ80名が手術を受けられています。

単径ヘルニアはなぜ起きるのか？

ヘルニアとは例えば、腸や脂肪などが本来の場所とは別の場所へ脱出した状態でついたりする状態をさします。ヘルニアの発症を防いでいるのは体壁の筋肉層を裏打ちしている筋膜・腱膜です。その筋膜・腱膜に後天的な異常が起ることによって筋膜・腱膜が弱くなってヘルニアが発症します。この後天的な異常の原因は、いまだ説明され

図1

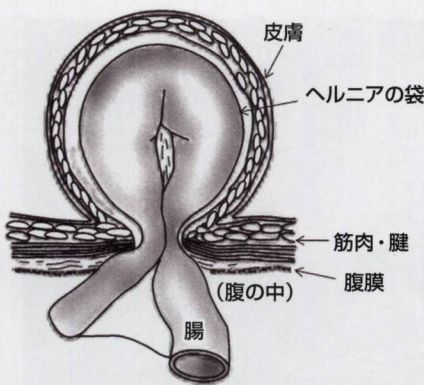


ていませんが、加齢とともに増大するので高齢者ほど多く起ります。また両側に起こるので左右ほぼ同時に起こったり、一側だったヘルニアがしばらくたつてから反対側にも

単径ヘルニアの症状

初期症状は、立った時やお腹に力を入れた時に単径部(足の付け根の部分)の皮膚の下に腹膜や腸の一部が出てきて柔らかいはれがでますが、普通は指で押さえると引っ込みます。次第に小腸などの臓器が出てくるので不快感や痛みを伴ってきます。はれが急に硬くなったり、膨れた部分が押しても引っ

図2



単径ヘルニアの治療

単径ヘルニアは現時点で手術以外に治療させる方法がありません。

メッシュを利用して治療する方法

現在はメッシュを用いた治療方法が主流となっています。人体に埋め込んでも問題がないとされる素材で作成されたメッシュ(人工布)を用いて弱くなった部分を補強する治療方法です(図3)。利点は再発が少ないことと手術直後の痛みが軽いことです。欠点は自身の組織を用いた治療法と比べて感染に弱いことです。ヘルニアの大きさ、片側か両側か、再発症例かどうか、過去の手術歴に応じて麻酔方法(おもに局所麻酔、腰椎麻酔、手術方法(アプローチ法、メッシュの種類等)を選択して

います。当院の特徴として麻酔は主に局所(膨潤)麻酔法+鎮静薬で行っています。腰椎麻酔後にみられる頭痛や尿閉を避けるためです。手術後数時間で歩行可能となり、患者さんの負担が少ないと考えています。入院期間も通

外科

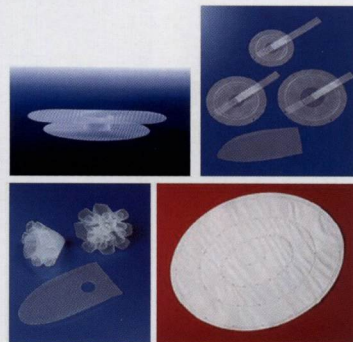
渡辺 和英

自身の組織を利用して治療する方法

現在は特殊な状況で行われることが多く、古典的な方法といえます。自身自身の組織を利用して、弱くなった部分を縫いよせる治療方法です。利点は自分自身の組織を利用するために人工物と比較して感染に強いことが挙げられます。欠点は弱くなった周辺の組織を利用するため、再発がほかの方法に比べて多いことや手術後の痛みが強くと長く続くことが挙げられます。

以上が単径ヘルニアについての基本的なお話です。多忙のため我慢していたり、「恥ずかしい病気」のイメージがまだにあり受診を渋っている患者さんも多いと推定されます。お悩みの場合はぜひ一度外科を受診してください。

図3

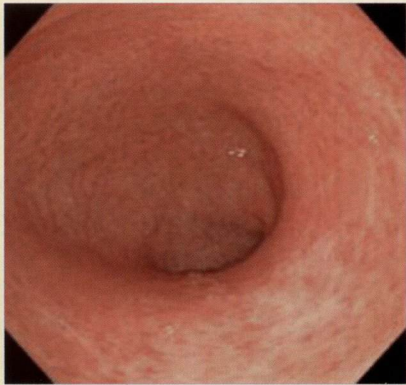


常術後3-4日ですが、希望により短くすることも可能です。

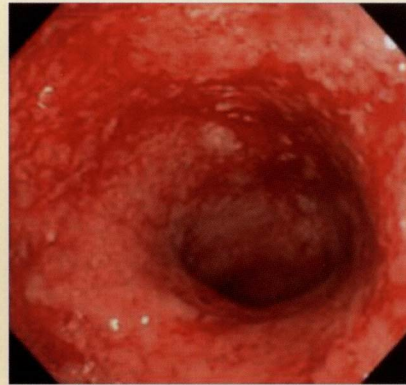
潰瘍性大腸炎について

炎症性腸疾患とは、消化管に原因不明の炎症をおこす慢性疾患の総称で、潰瘍性大腸炎、クローン病の2疾患からなります。広義には腸結核やベーチェット病などを含むこともあります。ここでは潰瘍性大腸炎についてお話します。

潰瘍性大腸炎とは大腸粘膜が炎症を起こしてただれ、びらんや潰瘍を形成する病気です。血便、粘血便、下痢、腹痛が主な症状です。ひどくなると体重減少や貧血、発熱がみられます。20～30代の若年成人に多く発症しますが、50～60代の人にもみられます。最近では安倍首相の病気として知られていますが、米国のジョン・F・ケネディ元大統領も患っていたといわれています。



正常の大腸粘膜



潰瘍性大腸炎の大腸粘膜

大腸粘膜に対する異常な免疫反応により自分の大腸粘膜があることなどが原因とされていますが、遺伝的素因や食生活、腸内細菌叢（そう）の変化などが複雑に絡み合っており、すべてが明らかになっているわけではありません。肉体的、精神的ストレスで悪化することがありますが、原因というよりも誘因と考えられています。

診断のためには大腸内視鏡検査が必要です。潰瘍性大腸炎の炎症の特徴は、びまん性、連続性と表現され、大腸粘膜の全周にわたる炎症が直腸から連続してみられます。炎症の範囲に応じて直腸炎型、左側大腸炎型、全大腸炎型に分けられます。血液検査では、炎症反応の程度をみたり、貧血や栄養不良が生じていないかなどを調べます。

多くの患者さんは適切な治療で通常の社会生活が可能ですが、重症度により治療法が異なります。比較的軽症の場合は、5-アミノサリチル酸製剤（アサコール、ペンタサ）の内服を行います。炎症が直腸や大腸の左半部に限られている時には、ペンタサやステロイド薬の注腸製剤を肛門から腸の中に注入して使用する場合があります。これらの治療で改善に乏しい場合は、ステロイド薬の内服や、炎症の原因となる白血球を取り除く白血球除去療法を行ったり、免疫抑制薬や生物学的製剤を使用することもあります。

これらの治療で改善せず激しい症状が続く時や、たびたび悪化して社会生活にさしつかえるような時には、大腸を摘出する手術が必要になります。また潰瘍性大腸炎を発症して10年以上たつと、大腸がんの発生する危険性が高くなります。大腸がんが発見された場合も大腸全摘手術が必要です。

当院では大腸内視鏡検査や炎症性腸疾患の治療を積極的に行っています。血便など気になる症状がある方は、ぜひお早めに受診して下さい。



ピンクリボン運動

— 早期発見・早期治療で
乳癌死を減らしましょう —

外科 清原 薫

乳癌は年々増加しており、今では日本女性の約15人に1人が乳癌になり、年間1万人以上が乳癌で死亡しています。乳癌増加の原因は食生活やライフスタイルの変化が考えられています。残念ながら乳癌の予防法はありませんが、早期に発見すれば約9割の人が治ります。

ピンクリボン運動は乳癌の早期発見の大切さを訴えるためにアメリカで始まったものです。日本でもこの運動が広く知られるようになり、毎年10月をピンクリボン月間として全国各地で様々な企画が行われています。市立砺波総合病院でもこれにあわせて玄関ホールでパネル展示などを行っています。

乳癌を早期に発見するには乳癌検診と乳房の自己検診をお勧めします。現在、富山県では触診とマンモグラフィ（レントゲン検査）による乳癌検診が行われています。マンモグラフィは乳房を2枚の板で挟んで撮影しますが、触診では分かりにくい乳癌を石灰化（白い斑点）や腫瘍（シコリ）として見つけることができます。砺波市の乳癌検診は病院北棟の砺波市健康センターで予約できます。

乳房の自己検診は自宅でも簡単に

できますので、月1回ほど自分の乳房を触ってみてください。閉経前の方は生理が終了してから1週間後が適しています。閉経後の方は月初めなど都合の良い日を決めて行われたらよいでしょう。

実際の方法ですが、入浴時に大きな鏡の前に立ち、両腕を挙げて乳房の皮膚にヒキツレやエクボができないか、乳首を絞ってみて分泌物が出ないか、手に石鹸を塗り乳房、首、脇を撫でるように触ってみてシコリを触れないか、みてみましょう。乳頭からの分泌物が赤色や茶色の場合は血液が混ざっていることを意味しますから注意が必要です。

しかし、自己検診をしても分からないと思われる方も多いと思います。そこで、乳癌検診や病院の診察で「異常なし」と言われた日に自己検診をしてみたらどうでしょう。この日の乳房の感触を覚えておき、それとの変化を感じた時、あるいは「今までこんなシコリはなかったのに」と思った時は病院を受診して下さい。

病院では触診、マンモグラフィ、超音波検査を行い、必要な方には針を刺して細胞を採取し（針生検またはマンモトーム生検）顕微鏡検査をします。

これらの検査の結果、乳癌と診断される方はごく一部ですから、早めに検査を受けて安心して下さい。

乳癌の治療方法は手術、薬物、放射線治療などです。

手術方法には乳房切除術（乳房を全部切除）と乳房温存手術（乳房の一部を切除）があります。手術中の顕微鏡検査で腋窩（わき）のリンパ節に転移がなければリンパ節の大半は残します（センチネルリンパ節生検）。リンパ節を取らないと手術後の腕の腫れ（リンパ浮腫）はほとんどありません。さらに現在、形成外科では乳房切除術後の人工乳房（インプラント）による乳房再建術の準備がされています。

薬物治療にはホルモン療法、抗癌剤治療などがあります。乳癌では再発予防の薬物治療を重視しますが、薬の副作用と再発の危険性を考えて治療方法を決めます。当院の外來化学療法室では薬剤師や看護師が薬のことや副作用対策について相談を受けています。

放射線治療は乳房温存術後の再発予防のためや、リンパ節、骨、脳などに転移した場合に行います。

乳癌は若い人でも発生します。このため患者さんは家庭や職場のことなど、様々な問題や悩みを抱えながら治療を受けられることとなります。そんな方々に少しでもお力になれるよう当院には「がん相談支援センター」があり、看護師やソーシャルワーカーが必要なアドバイス等を行っています。

乳癌は早期発見・早期治療が大切であるとともに、患者さんには様々な支援が必要です。10月のピンクリボン月間には当院で行っている乳癌の診療内容を病院正面玄関ロビーで展示しますので、興味のある方はぜひお越しください。



緩和ケア 認定看護師

私は昨年山梨県立大学看護実践開発研究センターで認定看護師教育課程の研修を修了し、平成25年7月に、緩和ケア認定看護師の資格を取得しました。



緩和ケア病床勤務
平木 葉子

緩和ケアとは

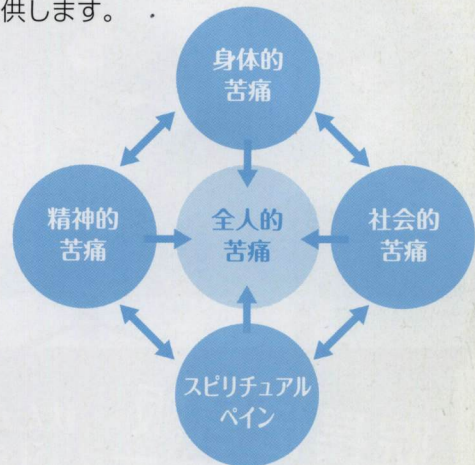
みなさん、緩和ケアってご存知ですか？緩和ケアに対してどんなイメージをお持ちですか？緩和ケアとは、病気になった時から生じる身体の痛み、心の痛みなどの様々な痛みに対し早い時期から関わり、その痛みを緩和することです。毎日をその人らしく過ごすことができるように専門的な知識を持ってケアし、病気になったご本人だけではなく、そのご家族に対してもケアを提供します。

緩和ケア病床

緩和ケア病床は、プライバシーが守れる個室になっています。病室には付き添い用の大きめのソファがあり、患者さんがご家族と一緒に過ごすことができる家庭的な雰囲気を大事にしています。食堂で好きな食事を作って食べられる方もいらっしゃいます。

緩和ケア病床では、専門的な知識や技術を持ったスタッフが、チームで患者さんに関わっています。ケアを受けて、身体・心の痛みがコントロールされ自宅に帰られる方も多くいらっしゃいます。その人がその人らしく生き、希望を叶えられるように援助しています。

また、納涼祭、収穫祭、クリスマス会、節分、ひな祭りといった行事を行って、病院にいながら季節を感じ、少しでも楽しい時間を過ごしていただけるように、努めています。



全人的苦痛の4つの側面



緩和ケアチーム

緩和ケア認定看護師として

緩和ケア認定看護師として、みなさんにより質の高いケアを提供できるよう、今後まだまだ勉強が必要だと思っています。

また、研修中に会った多くの方から学んだ、「心に寄り添う看護」を地域の皆さんに提供できるよう、病院内外での活動も行っていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

皆さんを支える存在になれるよう
頑張ります

「緩和ケア」 = 「心に寄り添う看護」



緩和ケア研修会を開催しました

緩和ケアとは、苦痛をやわらげることを目的に行われる医療的なケアのことです。がん患者さんとそのご家族が「がん」と診断された時から基本的な緩和ケアを受けられるよう、9月22日と23日に、すべての医療従事者を対象とした緩和ケア研修会を開催しました。参加者は24名で、うち14名は院外から参加されました。



二日間の研修では、講義形式のものだけでなくグループに分かれたロールプレイなども行いました。

実際に医師役・患者役になりきって、「オピオイド（医療用麻薬）の説明」や「バッドニュースの伝え方」などを体験することによって、患者さんの気持ちになって医師に向き合うことなど、普段の自分自身を振り返るよい機会になりました。

当院はがん診療連携拠点病院として、今後もこのような研修会を通して緩和ケアの大切さを広めていきます。より質の高い緩和ケア医療を、『いつでも』・『どこでも』・『適切に』提供できるよう努力を重ねていきます。

院長伝言板

秋だからこそ
注意したい病気！

天高く馬肥ゆる秋は、過ごしやすい季節と安心しがちです。しかし、秋は一日の気温差が10℃近い日もあり体調を崩しやすいのです。健康人でも風邪をひきやすく、毎年約6000人が死亡する気管支喘息は10月頃から患者さんが急増します。また、食中毒が多いのは真夏だから秋は大丈夫と甘く見てはいけません。食中毒は8月・9月と並んで10月も多いのです。食べ物が腐って起こすものだけでなく、毒キノコやフグなどによる食中毒もあります。秋は、行楽・運動会・お祭りなど、野外での調理や食事の機会が多くなります。手洗いや調理器具の水洗などに注意しましょう。

地域医療連携室だより

退院支援について

～退院後 安心して地域で生活していただくために～

退院支援とは、患者さんが適切な医療を受け退院後も安心して地域で生活を継続できるよう入院から様々な準備をすることです。

当院の退院支援は、退院後に何処でどのような生活を送りたいかという患者さんご家族の思いを第一に考えています。お一人おひとりの思いに寄り添った支援が出来るよう努めています。

ご相談事等ございましたら
お気軽に声をかけて下さい。

『患者さんの権利を守るために』

1. 当院では、病気を克服しようとしておられる患者さんの人権を尊重し、その経済的・社会的地位、年齢、性別、疾病の種類などにかかわらず平等で最良の医療を提供します。
2. 当院では、患者さんと一緒に病気を克服するために、患者さんが既に実施された診療の内容と、これから行われようとする検査、及び治療の目的、方法、内容、危険性、治療の見通し及び、これに代わる他の治療法について十分説明し、さらに患者さんの治療に対する希望もお聞きし、相互の理解を得た上で、医療を行います。
3. 当院では、患者さんの希望があれば原則として、患者さん本人にカルテを開示いたします。また、他の医療機関にかかり意見を求めるためや、他の医療機関に移られるときには全ての情報をお渡します。
4. 当院では、患者さんのプライバシーを守るために、患者さんの承諾なく当院の医療従事者以外の第三者に患者さんの情報を開示いたしません。
5. 患者さんの権利には義務と責任が伴います。

以上を守り診療することを約束いたします。

診療案内

外来診療受付時間

- 新患 午前8時15分から午前11時まで
- 再診 午前8時00分から午前11時まで

※診療科・曜日によって異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

休診日

土・日・休日および年末年始